

2020年10月20日（火）【外為L a b】松田哲

タイトル：【膠着感の強い相場】

ドル／円の膠着感が強い。

米国大統領選挙のゆくえを眺めて、「売買取引を行い難い」といった雰囲気がある。

大方のマスコミの報道では、バイデン氏の優勢が伝えられている。

しかし、前回の大統領選挙の時も、クリントン氏優勢の報道の中、結果としては、逆転してトランプ大統領が決定した。

その経験があるので、バイデン氏の優勢の報道を、鵜呑みにできない、といったところなのだろう。

しかしながら、今回は、バイデン氏の優勢の状況が続くのではないかと考えている。

そして、このまま行けば、バイデン氏の新大統領が決定するのだろう、と予測している。

トランプ大統領が、起死回生の大逆転策を打ち出せるのだろうか？

そのような策が、簡単に出せるとは、今のところ、考え難い。

米国大統領選挙は、いよいよ2週間後に迫っている。

バイデン氏が勝つことを前提とした大統領選後の相場を考えるのならば、ドル／円は下落する、と考えている。

現役大統領が落選すれば、基本的には、「ドル売り材料」と考えて良い。

トランプ大統領が負ければ、基本的に、米国株式も、下落材料と考えて良いのだろう。

上述のように考えているのだが、米国大統領選挙の結果が、すぐに出るのか、判然としない。

郵便投票の結果が、判然としないからだ。

米国大統領選挙の結果が、いつ、判明するのか？

それが判然としないので、ますます「売買取引を行い難い」といった雰囲気がつものることになってしまう。

この「変な雰囲気」は、米国大統領選挙の結果が、判明するまで続くのだろう。

+++++

(2020年10月20日東京時間14:40記述)